

市 勢

1. 沿 革

佐世保の歴史は旧石器時代に遡ることができる。昭和 45 年に発掘された泉福寺洞穴から約 1 万 5 千年前の石器が発見され、佐世保に人が住みついたのがかなり古いことが立証された。また岩下洞穴や下本山岩陰遺跡からは、縄文時代から弥生時代にかけて、この地で生活が営まれていた痕跡が発見されている。

佐世保地方の開拓に鍬が下ろされたのは平安時代の半ば頃で、武辺胤明が相浦地方を開拓してその地方の豪族となった。その後、武士の世の中となって、松浦氏が今の松浦市に住みついたが、今の大村市に居をかまえた大村氏との間にしばしば争いを起こし、戦国時代の様相がしばらく続いていた。

佐世保は江戸時代に平戸藩に属し、明治に入ってから平戸県、のちに長崎県となり、東彼杵郡下に置かれることになった。

明治 7 年に小学校が開設、同 16 年には企業会社（佐世保銀行の前身）が設立された。明治 19 年の軍港設置、明治 22 年の海軍鎮守府開庁によってにわかには人々が集積し始め、明治 35 年には、7,700 世帯、人口約 45,800 人に達し、同年 4 月に村から一足とびに市制を施行した。

以来、軍港の拡充とともに市勢も発展したが、明治の建設期には電灯が灯り、水道が布設され、町名実施、市庁舎建設などがあり、殊に激増する学童のための学校建設は市政の最大問題となった。

大正時代は、佐世保市政の整備期ともいうべきで、軍依存一辺倒から産業立市へと大きく動いたので、佐世保駅裏商港の建設、北松地域への佐世保軽便鉄道の敷設、青果市場、魚市場、火葬場、住宅などの市営化や、都市計画などに市政の論議が集中した。昭和の初期は、市勢の発展期ともいうべき時代であった。したがって、市政もまたこれに応じて、日宇、佐世両村の市への合併をはじめ、市営バス事業の開始、市庁舎、市公会堂の建設などの重要問題があった。

また、この間には、普通選挙法による第一回の市議会議員の選挙も行われて、市議会にも大きな変動があり、発展期にふさわしい市政多忙の時期であった。

日中戦争から太平洋戦争にかけての戦時下の市政は、それが軍港都市であっただけに、戦争遂行一本にしばられて動いたといっても過言ではなかった。相浦町をはじめとする早岐、大野、皆瀬、中里の町村の市への合併がそうであり、菰田水源地の築造や消防組の警防団への改組、佐世保駅裏商港移転のための相浦港の築港などもまたそ

うであった。しかもこの間には翼賛市議選挙という戦時下ならではの異常な選挙も行われたのである。市政もまた戦時色一色に塗りつぶされたと言えた。

昭和 20 年 6 月 28 日夜半から 29 日早朝にかけ、B 29 爆撃機による爆撃によって佐世保市は市街地の約 3 分の 1 に当たる 1 万 2,000 戸が完全に焼失し、1,200 人を超す死者を出した。同年 8 月 15 日、戦争は終結し佐世保は軍港としての機能を失うことになった。市民は戦災の復興と旧軍港の遺産を活用して平和産業港湾都市の建設に立ち上がった。昭和 25 年 1 月、平和宣言も行った。しかし同年 6 月に朝鮮戦争が起こってから、佐世保は連合軍の前線基地としての色を濃くした一方で、街は思わぬ特需景気に沸くことになった。この特需景気が市の復興を早めたのはもちろんである。

戦後は民主主義体制への転機で新しい自治体へ改組され、市長公選、女性参政、自治体警察の発足、六三三制教育実施など次々に進んだ。こうした中で佐世保市は平和産業港湾都市を打ち出してはいたものの、朝鮮戦争をはじめ、その後の国際情勢の変化はそのための基盤づくりを許さず、佐世保港の枢要部が米軍の施設及び区域となったことで軍商 2 本立てへの再転換を余儀なくされる中、海上自衛隊の前身である海上警備隊が昭和 28 年に開庁された。

昭和 29 年から 30 年にかけて周辺の 5 村を吸収合併し、広大な市域を持つこととなったが、昭和 30 年に西海国立公園の指定を受けて観光立市の足がかりをつくり、以後、弓張岳、石岳、鹿子前、烏帽子岳などの景勝地の開発整備が大幅に進められた。

昭和 39 年、米原子力潜水艦が日本で初めて佐世保港に入港して以降、原子力艦艇が寄港している。中でも昭和 43 年の原子力空母エンタープライズ入港の際は、世論の賛成、反対を背景に、反日共系全学連と警官隊の市街戦にも似た激突が繰り返され、混乱を極めた。しかし、その後全面的な米軍基地縮小統合などによって、佐世保基地を母港とする艦船の本国引揚げなどがあり、補給基地としての機能を維持しているにすぎなかった。

このような基地縮小の段階の中で、佐世保市は佐賀県の一部を含む広域経済圏の拠点都市に相応する産業港湾都市建設に係る長期総合計画を昭和 46 年に策定し、港湾施設利用の再編制を図り、総合的な市勢の伸展を期するため、共同使用中の海上自衛隊施設を含む米軍提供施設返還について 6 項目を掲げ、陳情を続け、昭和 49 年には佐世保重工業株式会社（SSK）の 100 万トンドック建設予定用地としての崎辺地区が、昭和 53 年には佐世保川沿いのニミッツパークの返還が決定した。（ただし、昭和 60 年に崎辺地区東側は米軍に再提供）

昭和 51 年 2 月には政府から我が国最初の原子力船「むつ」の佐世保港での修理が要請され、市民の賛否両論の中で、市議会においては昭和 52 年 3 月定例会で諮問案「核

付き受入れ」を、県議会においては4月臨時会で「核抜き受入れ」をそれぞれ可決。以後、市議会と県議会の議決の相違の調整を待つことになったが、昭和53年6月に県、市議会において「核封印方式」による修理の再諮問案をそれぞれ可決し、「むつ」の原子炉の修理が佐世保港で行われることとなり、昭和53年10月16日に佐世保港に入港し、SSK甲岸壁で修理を行い、昭和57年8月31日無事修理を終え、青森県大湊港へ向け出港した。

昭和53年に入り、本市の基幹産業（造船業）である佐世保重工業株式会社が、オイルショック後の世界的経済不況の影響で合理化を行い、地域社会は不況の暗い影に覆われた。不況は長期にわたったが、地域経済の停滞を打開するため、佐世保テクノパークや佐世保駅周辺再開発等の整備を進めてきた。さらに、平成4年には本市観光の柱であるハウステンボス、平成6年には、もう一つの柱である九十九島を含む西海パールシーリゾート（現：九十九島パールシーリゾート）が開業した。また、平成9年には海上自衛隊佐世保史料館が開館し、新たな観光スポットとして定着するなど、観光施設も整いを見せる中、平成10年4月には、市民待望の西九州自動車道佐世保道路（佐世保みなと～佐世保大塔間）が開通し、交通アクセスも充実。平成11年には562万人の観光客が本市を訪れた。

こうした本市の発展の中で、基地問題については、平成10年9月に、本市従来の返還6項目を基調として、最重要課題である前畑弾薬庫の移転・返還をはじめとする「新返還6項目」へ見直しを行い、継続して陳情を続けていたが、第7次佐世保市総合計画において掲げる「基地との共存共生の推進」実現のため、令和4年2月に「佐世保港長期総合計画」を廃止し、返還6項目及び新返還6項目との整合性を図った「佐世保市基地政策方針」を策定、今後は当該政策方針に沿い、取組を続けていくことを市議会として確認した。

平成15年、佐世保市の観光の中心である「ハウステンボス」が会社更生法適用を申請したのは、観光立市を目指す本市においては大きな衝撃であった。その後、幾多の変遷を経て、平成22年には新たな支援企業である株式会社エイチ・アイ・エスの経営参画、また、官民あげての支援により再建を果たしたが、コロナ化を経て、令和4年にアジア最大級の資産運用会社であるPAGの傘下となり、株式会社刀の運営支援の下、再出発した。

また、近隣の市町とは、いわゆる「平成の大合併」により、平成17年4月に吉井町及び世知原町と、平成18年3月に宇久町及び小佐々町と、また、平成22年3月には江迎町及び鹿町町と合併し、新しい佐世保市が誕生した。

平成 21 年 6 月には、高砂街区再整備事業の中心施設となる、中央保健福祉センター（愛称：すこやかプラザ）の供用を開始し、本市の保健福祉行政の拠点施設として、市民サービスのより一層の充実を図っている。

平成 28 年 4 月、より幅広い事務権限の行使を通じて行政サービスの充実を目指すため、中核市へと移行した。

翌平成 29 年には、官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾として、国土交通省から「国際旅客船拠点形成港湾」の指定を受け、東アジアに近い地理的優位性を生かし、カーニバル社とともに、日本に寄港するクルーズ船のゲートウェイ機能を有した拠点港として発展していくことを目指す国際旅客船拠点形成計画を策定。平成 30 年度に 16 万トン級の大型客船が寄港できる三浦岸壁が完成し、令和 2 年にはカーニバル社、国と一体となり、浦頭地区に新たな港湾施設整備（岸壁・旅客ターミナル）を完成させている。

平成 30 年 4 月 19 日、九十九島湾が国際 NGO「世界で最も美しい湾クラブ」へ加盟し、同年 6 月 30 日には、ユネスコ世界遺産委員会において、「黒島の集落」を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録されることが決まり、本市の自然と文化が世界的に認められた。

令和 6 年 10 月には、「福井洞窟」が日本列島における後期旧石器時代から縄文時代への移行を連続的に示す洞窟遺跡として、史跡の国宝とも言われる「特別史跡」に新たに指定された。旧石器時代まで遡る特別史跡としては、国内で初めての指定であり、福井洞窟が我が国の歴史を示す貴重な文化財として、後世に保存・継承されるよう適切な保存管理を行うとともに、福井洞窟を含め、本市の特徴である「洞窟遺跡日本一のまち」としての発信を行っている。

今後、さらに人口減少や少子高齢化が進展する中で、医療や交通、産業など、周辺自治体と連携して行政サービスや都市機能を効率よく活用しながら、その圏域全体の社会・経済を支えていく必要があることから、平成 31 年 4 月に県北 11 市町で構成する連携中枢都市圏「西九州させば広域都市圏」を形成し、令和 2 年 4 月には佐々町が新たに加わり、12 市町の中心市として連携市町の機能や魅力を高めながら、連携市町との協力を通じ、市勢及び圏域のさらなる成長・発展に向けて新たな歩を進めている。

令和 2 年 4 月から、新たな時代の潮流に的確に対応するため「第 7 次佐世保市総合計画」がスタートした。本計画で設定された社会指標、K P I（重要業績評価指数）に基づき効果的な政策・施策を推進することで、人口減少社会においても持続可能で幸福な社会の実現を目指していくこととした。

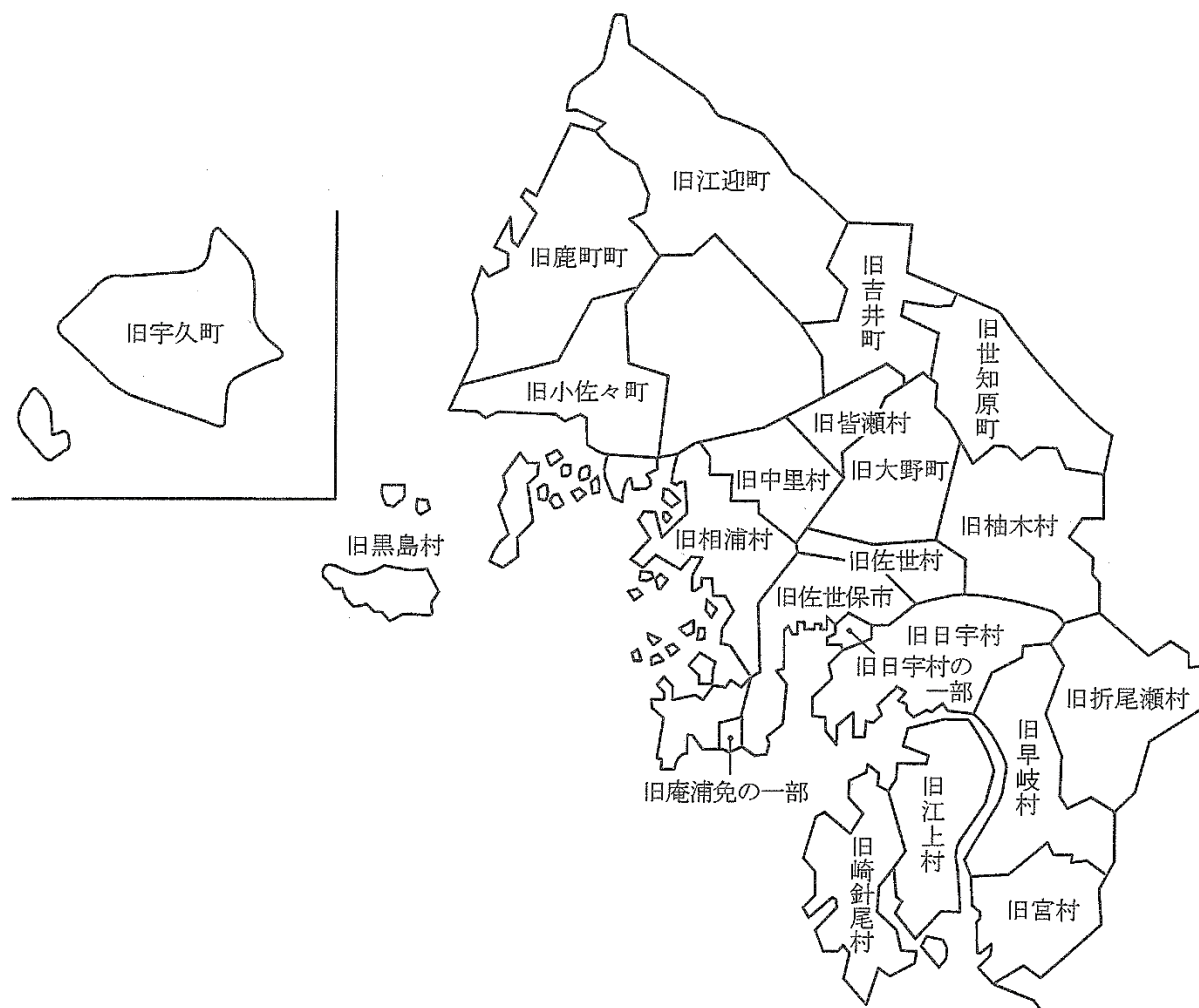
令和6年度よりスタートした「第7次佐世保市総合計画（後期基本計画）」では、「つながる想い ともに創る ^ミ^ラ^イ SASEBO」をキャッチフレーズとし、各種政策を推進している。併せて、同年度より始動した「“選ばれるまちSASEBO”を創るシティブランディング・プロジェクト」では、「子育て」・「産業」・「地域資源」・「文化」の4つの柱ごとに、本市の多様な地域資源を活用しながら、まちの魅力を磨き上げ、まちのブランディングを図っていくこととしており、本市の未来に向けたまちづくりを強かに推進している。

2. 市域の変遷

編入年月日	編入町村名	累計面積	人口
		km ²	人
明治35. 4. 1	旧佐世保市（市制施行）	17.82	45,766
37. 3. 31	庵浦免の一部を北松浦郡山口村へ分割	16.92	} 55,129
37. 4. 1	日宇村の一部編入	17.92	
昭和 2. 4. 1	佐世村、日宇村編入	52.03	133,581
13. 4. 1	相浦町編入	87.58	190,418
17. 5. 27	早岐町、大野町、中里村、皆瀬村編入	139.24	266,269
29. 4. 1	柚木村、黒島村編入	172.66	242,376
30. 4. 1	折尾瀬村、江上村、崎針尾村編入	233.34	254,479
33. 8. 1	宮村編入	249.00	264,525
63. 8. 19	公有水面埋立による面積増	250.47	248,140
63. 10. 1	建設省国土地理院の精査による調整減	248.15	248,382
平成元. 3. 24	公有水面埋立による面積増	248.16	248,464
5. 1. 18	〃	248.24	245,158
5. 6. 1	佐々町との境界修正による面積減	248.23	245,418
6. 1. 25	公有水面埋立による面積増	248.24	245,185
8. 7. 30	〃	248.28	244,477
9. 1. 17	〃	248.29	244,363
11. 3. 5	〃	248.30	243,239
12. 1. 14	〃	248.32	242,108
17. 4. 1	吉井町、世知原町編入	307.54	247,282
18. 3. 31	宇久町、小佐々町編入	363.94	255,703
18. 6. 20	公有水面埋立による面積増	364.00	257,216
20. 10. 10	〃	364.03	252,904
21. 1. 16	〃	364.04	252,698
22. 3. 31	江迎町、鹿町町編入	426.41	260,324
22. 7. 16	公有水面埋立による面積増	426.47	261,249
22. 10. 19	〃	426.49	261,041
23. 10. 1	国土交通省国土地理院公表	426.49	259,860
24. 10. 1	国土交通省国土地理院公表	426.58	258,520
25. 10. 1	国土交通省国土地理院公表	426.59	256,776
26. 10. 1	国土交通省国土地理院公表	426.06	254,901
27. 10. 1	国土交通省国土地理院公表※	426.06	255,439
	※計測方法の変更による修正		
令和 2. 1. 1	国土交通省国土地理院公表	426.01	246,567

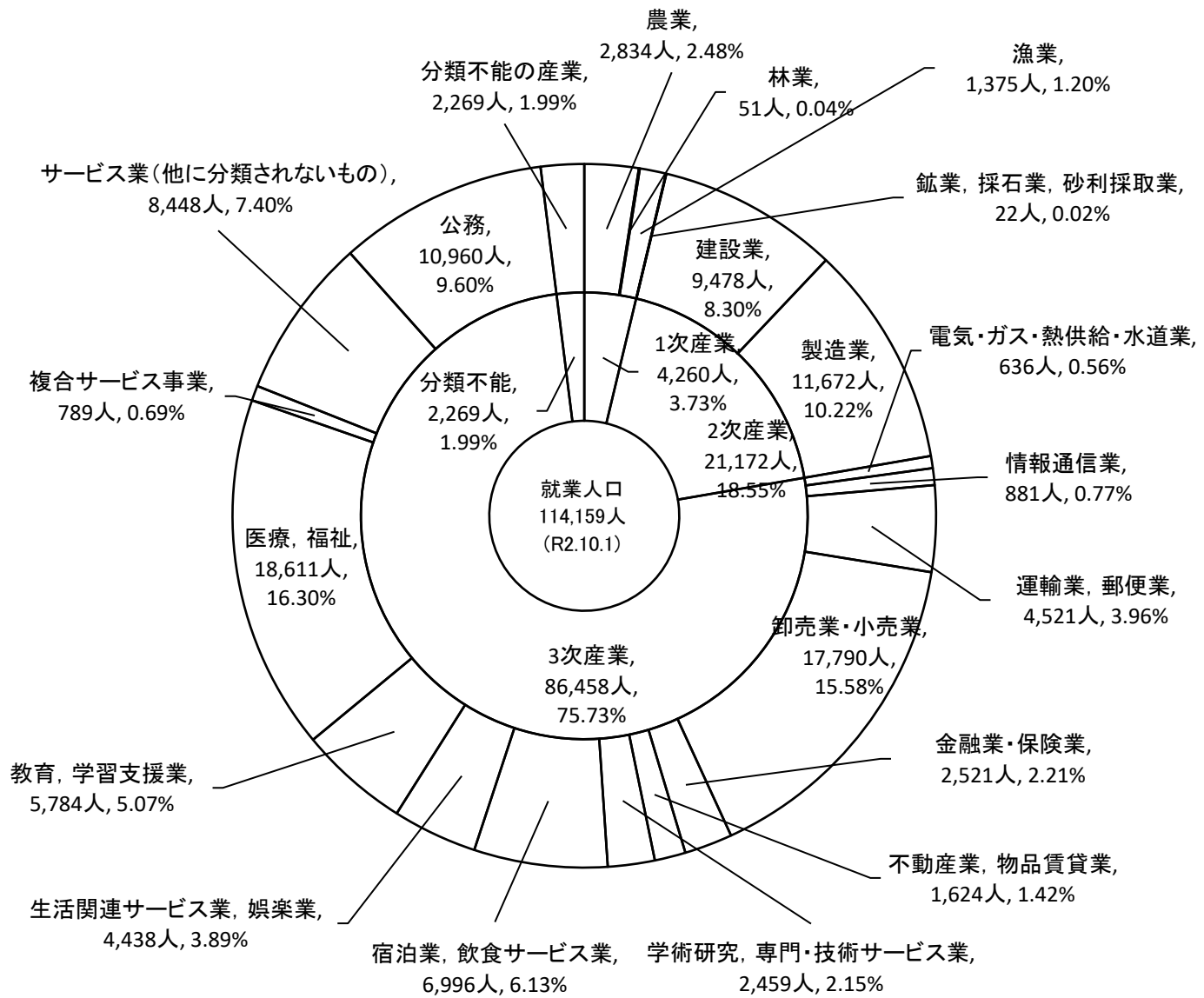
※国勢調査確定値を基礎数値とした推計人口

3. 市域の拡張



4. 産業別人口

(令和2年国勢調査)



5. 人口・世帯数の推移

年次	区分	面積 km ²	世帯数	人口			人口 密度	摘 要
				総数	男	女		
明治35年		17.82	7,694	45,766	—	—	2,568.2	市制施行時(4月1日)
大正9年		17.92	16,545	87,022	—	—	4,856.1	第1回国勢調査
〃 14年		17.92	18,038	95,385	—	—	5,322.8	第2回 〃
昭和5年		52.03	23,650	133,174	—	—	2,559.6	第3回 〃
〃 10年		52.03	30,457	173,283	—	—	3,330.4	第4回 〃
〃 15年		87.58	42,693	205,989	—	—	2,352.0	第5回 〃
〃 22年		139.24	44,497	175,233	—	—	1,258.5	第6回 〃
〃 25年		139.24	47,580	194,453	95,572	98,881	1,396.5	第7回 〃
〃 30年		233.34	55,753	258,221	126,772	131,449	1,106.6	第8回 〃
〃 35年		249.00	60,087	262,484	128,090	134,394	1,054.2	第9回 〃
〃 40年		249.24	61,948	247,069	117,629	129,440	991.3	第10回 〃
〃 45年		249.66	68,232	247,898	117,697	130,201	992.9	第11回 〃
〃 50年		249.84	72,466	250,729	119,820	130,909	1,003.6	第12回 〃
〃 55年		250.23	77,676	251,187	119,059	132,128	1,003.8	第13回 〃
〃 60年		250.44	79,972	250,633	118,358	132,275	1,000.8	第14回 〃
平成2年		248.16	82,224	244,677	114,788	129,889	986.0	第15回 〃
〃 7年		248.24	87,860	244,909	114,987	129,922	986.6	第16回 〃
〃 12年		248.32	90,105	240,838	113,153	127,685	969.9	第17回 〃
〃 17年		307.54	96,048	248,041	116,726	131,315	806.5	第18回 〃
〃 22年		426.47	104,583	261,101	122,430	138,671	612.2	第19回 〃
〃 27年		426.06	105,011	255,439	120,198	135,241	599.5	第20回 〃
令和2年		426.01	104,053	243,223	115,131	128,092	570.9	第21回 〃

6. 主要施設一覧

○一般施設

支所（早岐、相浦、日宇、大野、中里皆瀬、柚木、黒島、江上、三川内、針尾、宮、吉井、世知原、小佐々、江迎、鹿町）、宇久行政センター、東京事務所、佐世保市産業支援センター、佐世保市労働福祉センター、アルカスSASEBO、佐世保市民文化ホール（凱旋記念ホール）、佐世保市博物館島瀬美術センター、男女共同参画推進センター、まちなかコミュニティセンター、地区コミュニティセンター（早岐、相浦、日宇、三川内、大野、宮、針尾、柚木、中里皆瀬、南、江上、中部、西、九十九、北、黒島、広田、山澄、愛宕、吉井、世知原、宇久、小佐々、江迎、鹿町、清水、崎辺）、江迎地区文化会館インフィニタス、環境センター

○港湾施設

鯨瀬ターミナルビル、新みなとターミナル、佐世保市営相浦栈橋待合所、佐世保港国際ターミナルビル、宇久ターミナルビル、佐世保クルーズセンター

○教育施設

図書館、総合教育センター（少年科学館、教育センター）、青少年教育センター、幼児教育センター、うつわ歴史館、幼稚園、世知原地区炭鉱資料館、宇久島資料館、看護専門学校、給食センター（佐世保市、世知原、小佐々、宇久、鹿町江迎）、教育集会所、木場浮立資料館兼伝習研修所、福井洞窟ミュージアム

○体育施設

体育文化館、総合グラウンド（庭球場、プール、陸上競技場、運動広場、アーチェリー競技場、野球場、体育館）、学校運動場照明施設（福石中、早岐中、清水中、春日小、江迎小）、温水プール、東部スポーツ広場（ソフトボール場、ラグビー・サッカー場、ゲートボール場、体育館）、北部ふれあいスポーツ広場（多目的運動広場、テニスコート、ゲートボール場）、吉井北部運動広場、吉井野球場、吉井ソフトボール場、吉井テニスコート、吉井構造改善センター、世知原野球場、世知原テニスコート、世知原運動広場、栗迎農村公園運動広場、宇久野球場、宇久陸上競技場、小佐々スポーツセンター、小佐々海洋スポーツ基地、小佐々海洋センター体育館、小佐々海洋センタープール、小佐々中央運動広場、大悲観グラウンド、大悲観テニスコート、江迎中央体育館、鹿町運動場、鹿町体育館、鹿町テニスコート、千鳥越野球場、鹿町海洋スポーツ基地、長崎県立武道館（柔道場・剣道場・弓道場）、海洋スポーツ基地カヤックセンター、サン・アビリティーズ佐世保、エビスヶ丘公園

○保健施設

保健所（中央保健福祉センター）、宇久保健福祉センター

○医療施設

急病診療所、佐世保市総合医療センター（黒島診療所、高島診療所、宇久診療所）、子ども発達センター、北松中央病院

○衛生施設

東部クリーンセンター、西部クリーンセンター、クリーンピュアとどろき、佐世保市一般廃棄物最終処分場、宇久衛生センター、宇久ストックヤード、宇久一般廃棄物最終処分場、西部芳世苑、東部芳世苑、宇久やすらぎ苑、動物愛護センター、市民霊園、霊園納骨堂、食肉衛生検査所

○社会福祉施設

老人・身体障害者憩いの家（いでゆ荘）、高島地区老人憩いの家、児童発達支援センター（すぎのこ園）、障害福祉サービス事業所おおぞら作業所、障害福祉サービス事業所あすなろ作業所、児童センター（稲荷、大野、黒髪、相浦、早岐、春日、広田、山澄、宇久）、児童交流センター（ことひら）、保育所（早岐、上相浦）地域型保育事業所（浅子、高島）、福祉活動プラザ

○市場施設

青果市場、水産市場、食肉市場、と畜場、花き市場

○観光施設等

九十九島パールシーリゾート（九十九島水族館『海きらら』など）、九十九島動物園『森きらら』、九十九島八景【弓張岳展望台、鶺鴒渡越展望台、石岳展望台、展海峰、冷水岳公園、高島番岳、船越展望所、長串山公園】、九十九島観光公園、烏帽子岳高原リゾートスポーツの里、三川内焼伝統産業会館（三川内焼美術館）、浦頭引揚記念資料館、本土最西端公園（神崎鼻公園）、世知原温浴・宿泊施設（山暖簾）、佐世保観光情報センター、させぼ物産みかわち振興センター（四季彩館）、道の駅させぼくす 99、宇久サンライズマリーンパーク、大浜キャンプ場、城ヶ岳、乙女ノ鼻、佐世保中央公園屋内遊び場、恢復食堂 O T A Y A

○水道・下水道施設

貯水施設、取水施設、導水施設、浄水施設、送配水施設、中部下水処理場（再生水処理施設を含む）、西部下水処理場、針尾下水処理場（再生水処理施設を含む）、江迎浄化センター、ポンプ場

○消防施設

消防局、中央消防署、東消防署、西消防署

○その他

競輪場、佐世保市水産センター、エコspa佐世保、鹿町温泉施設、駐車場（島瀬、万津、アルファ）、農山村交流施設（吉井・世知原・しかまち）

7. 庁舎の概要（令和7年4月1日現在）

建設位置 佐世保市八幡町1番10号
設 計 株式会社 久米建築事務所
工事監理 佐世保市庁舎建設事務室
株式会社 久米建築事務所
施 工 清水建設株式会社
工 期 着工 昭和47.12～竣工 昭和49.12

建築工事概要

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造
規 模 地下2階 地上13階（塔屋1階付）
建築面積 2,754.12 m²（敷地面積 8,364.10 m²）
床面積 合計 26,467.68 m²
軒 高 58.6m（塔屋まで 59.1m）
建設費 2,644,341 千円
建築工事費 2,410,331 千円
外構工事費 79,102 〃
そ の 他 154,908 〃

設備概要

冷暖房・火災報知器・避雷針設備・消火設備
乗用エレベーター4台（17人乗 速度120m/分）
非常用 〃 1台（17人乗 速度105m/分）
電話交換機設備（デジタル式交換機）
（局線アナログ40回線 ひかり46回線）
放送設備 非常放送全館・一般全館・各階
消防・防火設備 自動火災報知器・防排煙設備・スプリンクラー地下11～13階
立体駐車場 収容台数240台

8. まちづくりの重点的な取り組み

「“選ばれるまちSASEBO”を創る シティブランディング・プロジェクト」

①こども・子育て応援プログラム

妊娠期からの切れ目のない支援策を通じて、「安心して妊娠・出産・子育てができる支援が充実しているまち」を目指すもの

- ・中学校給食費の無償化、不妊に悩む方への特定治療支援など

②グローバル産業育成プログラム

地域（local）に根差した産業を磨き上げ、世界（global）に通じる「活気が溢れ、自分らしい仕事ができるまち」、「基地を活かしたまちづくり」を目指すもの

- ・チャレンジショップ支援、外国人材の受入れと定着促進など

③オンリーワン価値創造プログラム

自然環境に恵まれた地域資源を基盤とした「オンリーワンのまち」の価値を創造し、「世界に誇る九十九島やハウステンボスを中心として誰もが集いたくなるまち」を目指すもの

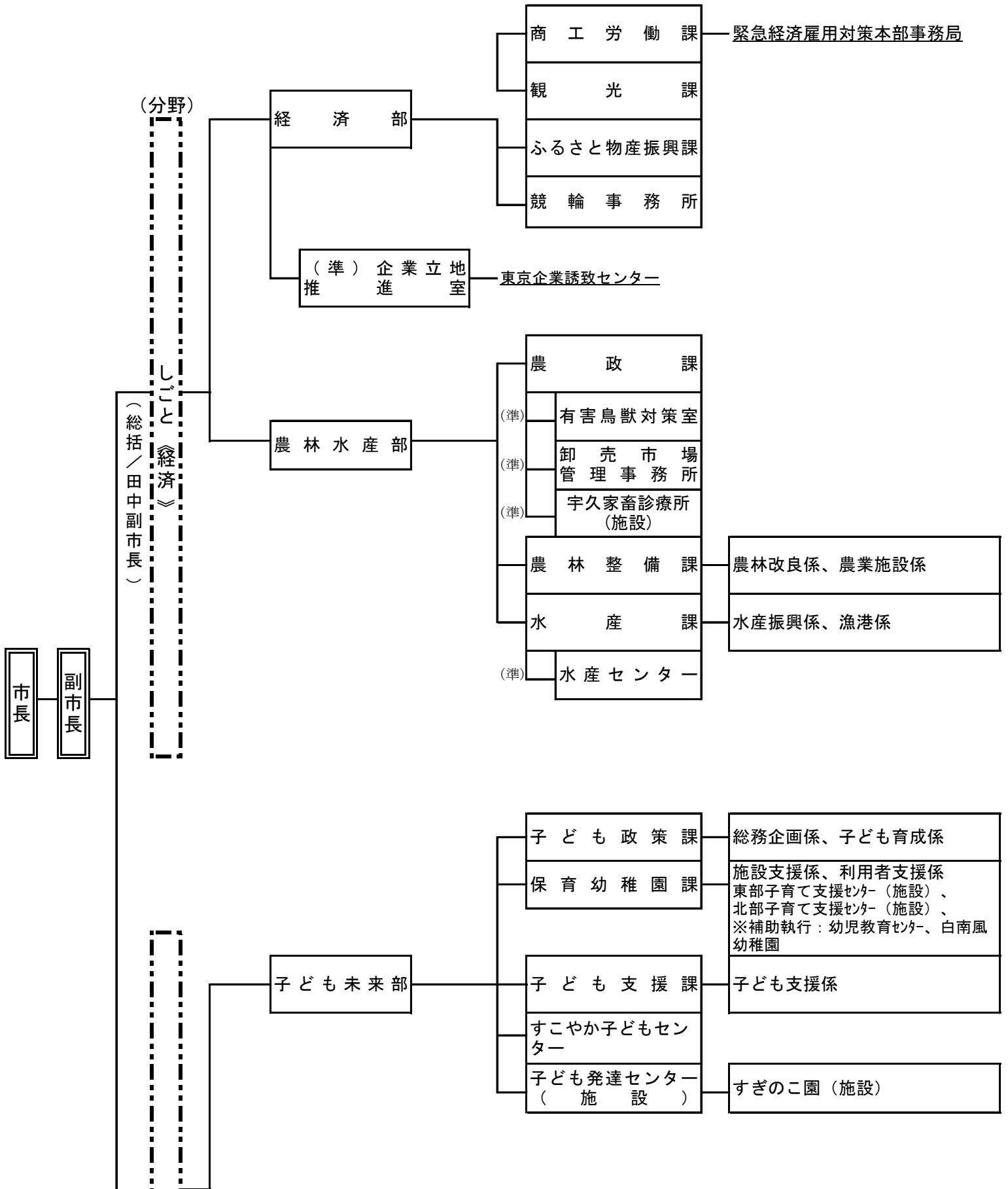
- ・俵ヶ浦半島全体の自然観光公園化、北九十九島エリアマネジメントなど

④シビックプライド醸成プログラム

市民のシビックプライドの醸成や交流人口の増加を通じて、「若者の活躍を応援し、若者の夢を実現するまち」、「文化やスポーツで市民が活躍できるまち」を目指すもの

- ・若者活躍プラットフォーム運営、ながさきピース文化祭2025など

佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）



佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）

（総括／西本副市長）

ひと《人財》

教育委員会

事務局

教育総務部

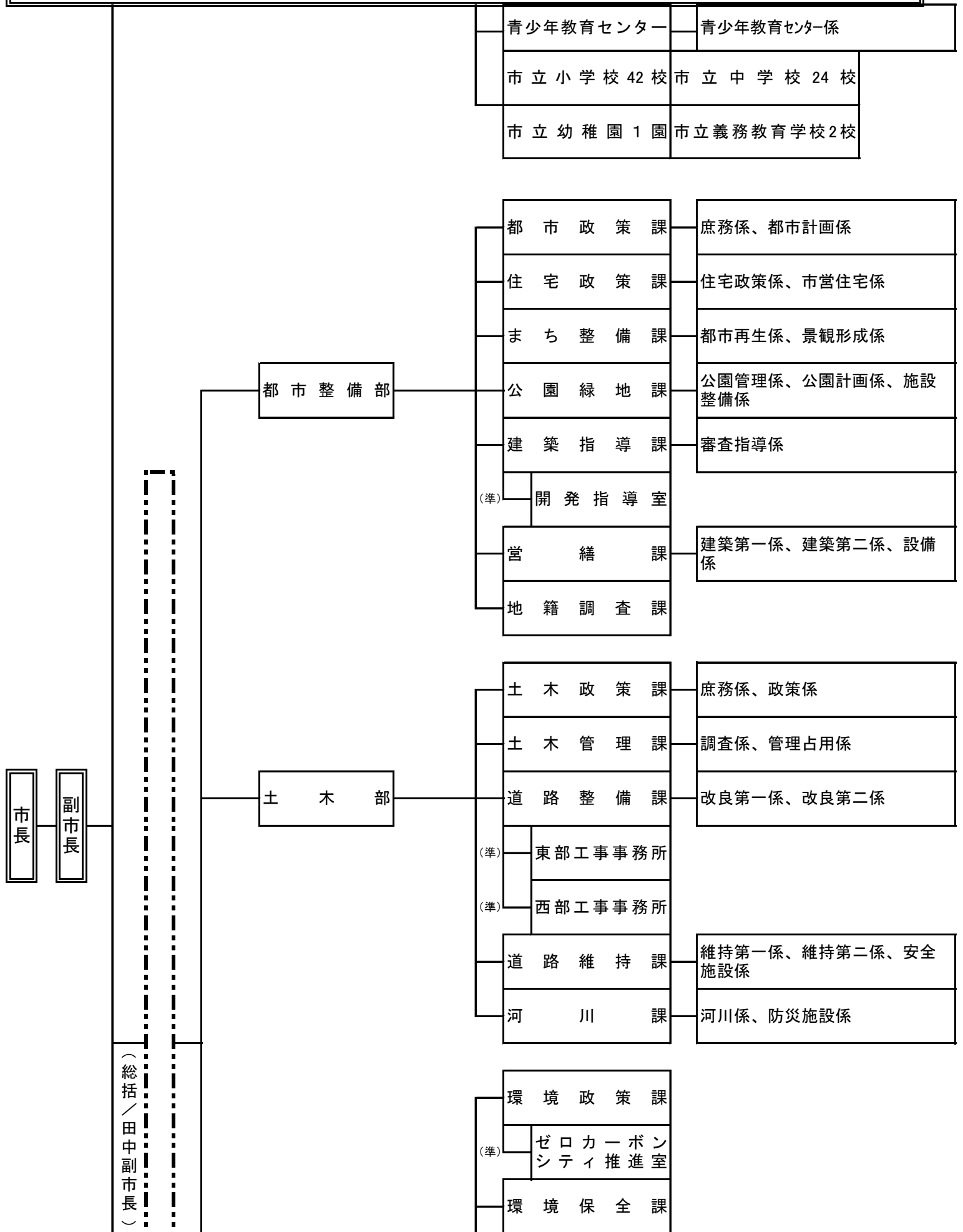
- 総務課
- 教育施設課
- 社会教育課
- 文化財課
- 新しい学校推進室

- 庶務係、経理係
- 教育施設係
- 指導係

学校教育部

- 学校教育課
- 《教育機関》
- (準) 幼児教育センター
- 学校保健課
- 《教育機関》
- (準) 佐世保市学校給食センター
- (準) 世知原学校給食センター
- (準) 宇久学校給食センター
- (準) 小佐々学校給食センター
- (準) 鹿町江迎学校給食センター
- 総合教育センター課
- 《教育機関》
- (準) 総合教育センター
- (準) 少年科学館
- スマート・スクール・SASEBO 推進室
- 《教育機関》
- 教育センター

佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）



青少年教育センター

青少年教育センター係

市立小学校 42校

市立中学校 24校

市立幼稚園 1園

市立義務教育学校 2校

都市整備部

都市政策課

庶務係、都市計画係

住宅政策課

住宅政策係、市営住宅係

まち整備課

都市再生係、景観形成係

公園緑地課

公園管理係、公園計画係、施設整備係

建築指導課

審査指導係

(準)

開発指導室

営繕課

建築第一係、建築第二係、設備係

地籍調査課

土木部

土木政策課

庶務係、政策係

土木管理課

調査係、管理占用係

道路整備課

改良第一係、改良第二係

(準)

東部工事事務所

(準)

西部工事事務所

道路維持課

維持第一係、維持第二係、安全施設係

河川課

河川係、防災施設係

環境政策課

(準)

ゼロカーボンシティ推進室

環境保全課

市長

副市長

(総括／田中副市長)

佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）

まち《都市基盤》

環境部

廃棄物減量推進課

減量リサイクル係、指導啓発係

廃棄物指導課

(準)

不適正処理事案
対策室

クリーン推進課

施設課

(準)

西部クリーン
センター

(準)

東部クリーン
センター

(準)

クリーンピュア
とどろき

(準)

宇久環境セン
ター

港湾部

みなと振興・管理課

庶務振興係、管理係

みなと整備課

計画係、建設維持係

クルーズ事業
推進課

誘致プロモーション係、受入・
イベント係

基地政策局

水道局

経営管理部

総務課

総務管理係、職員係

経営企画課

財務課

経理係、調達係

営業課

業務係、料金係、計量係

事業部

上下水道計画建設課

水道維持課

給水装置係、維持第一係、維持
第二係、東部管理係

水道管路整備課

建設改良第一係、建設改良第二
係

佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）

市民生活部

水道施設課

水道施設係、水道設備係、施設管理係

北部管理事務所

北部管理係

宇久営業所
(準)

下水道事業課

下水道普及促進係、下水道計画係、下水道建設第一係、下水道建設第二係、下水道維持係

下水道施設課

下水道施設係

水質管理センター

水道水質係、下水道水質係

コミュニティ
・協働推進課

早岐地区、相浦地区、日宇地区、三川内地区、大野地区、宮地区、針尾地区、柚木地区、中里皆瀬地区、南地区、江上地区、中部地区、西地区、九十九地区、北地区、黒島地区、広田地区、山澄地区、吉井地区、世知原地区、宇久地区、小佐々地区、愛宕地区、江迎地区、鹿町地区、清水地区、崎辺地区

まちなかコミュニティセンター
(施設)

各地区コミュニティセンター
(施設)

市民安全安心課

防犯・援護係、交通安全対策係、消費生活・市民相談係

人権男女共同参画課

戸籍住民窓口課

管理係、戸籍係、住民係

早岐支所

支所係

相浦支所

支所係

日宇支所

支所係

大野支所

支所係

中里皆瀬支所

支所係

柚木支所

支所係

黒島支所

支所係

江上支所

支所係

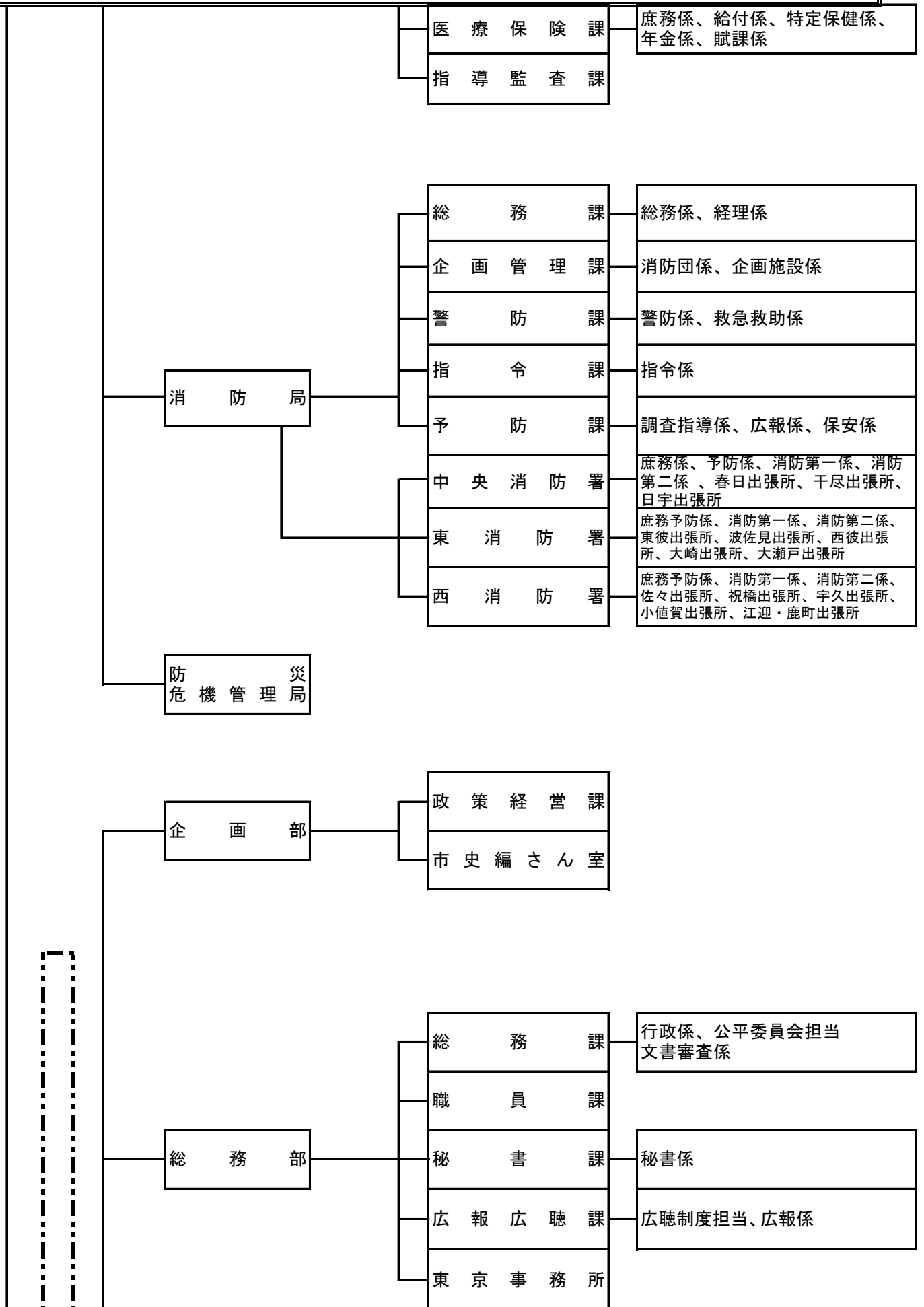
三川内支所

支所係

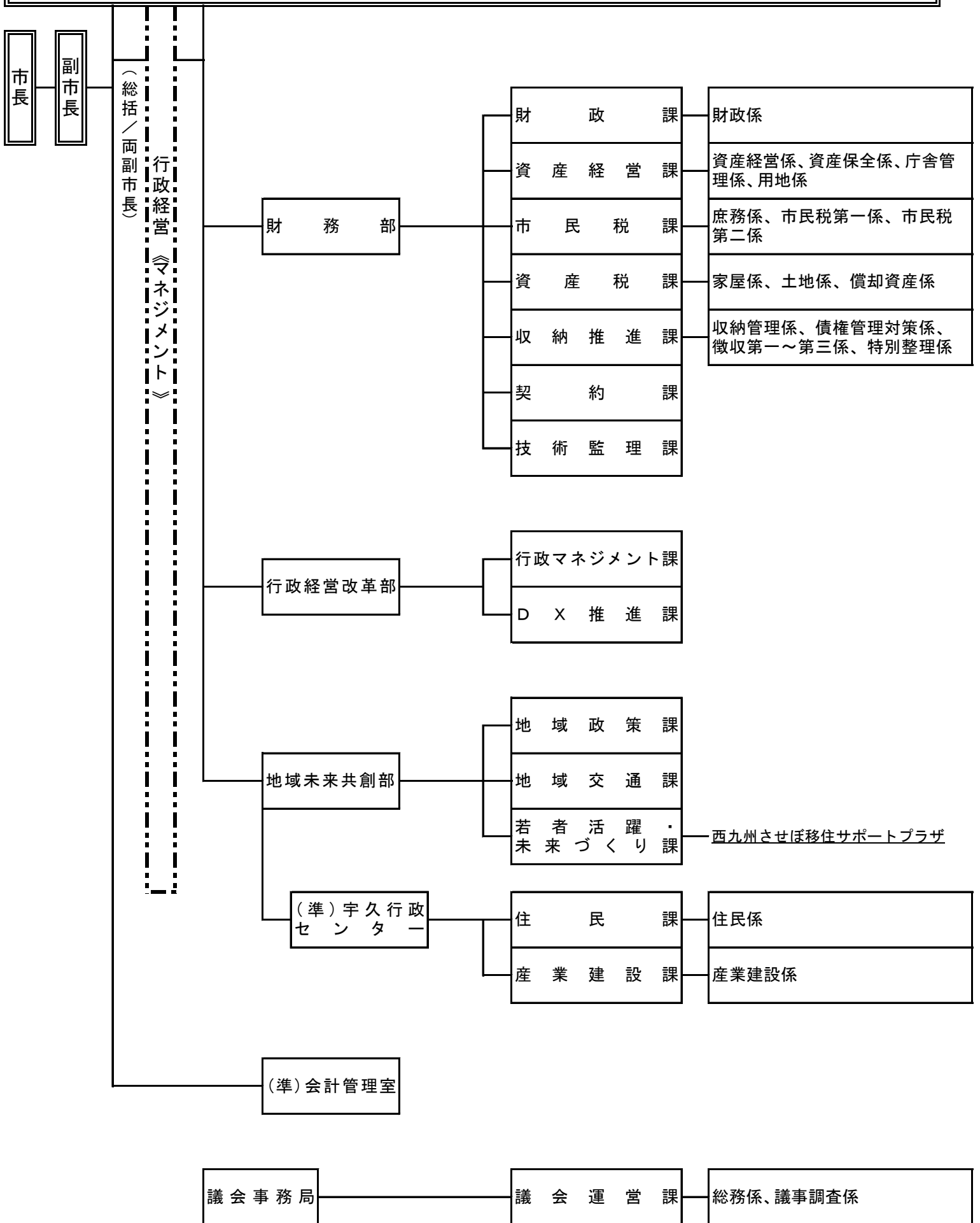
針尾支所

支所係

佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）



佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）



佐世保市行政機構図（令和7年4月1日現在）

選挙管理
委員会

選挙管理委員会
事務局

監査委員

監査事務局

農業委員会

農業委員会事務局

公平委員会

固定資産評価審査委員会